

プリンタ簡易操作説明書

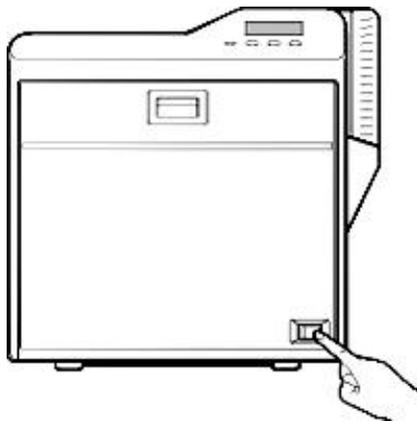
※本説明書は、本体付属 CD 内『CX-7000 電子マニュアル』の補助資料としてご使用下さい。

(電子マニュアル保存場所：CD<Manual<LST1006-001A.pdf または
CD<Drivers<CX-7000<Japanese<Document<Manual<pdf<LST1006-001A.pdf)

1. 電源を入れる

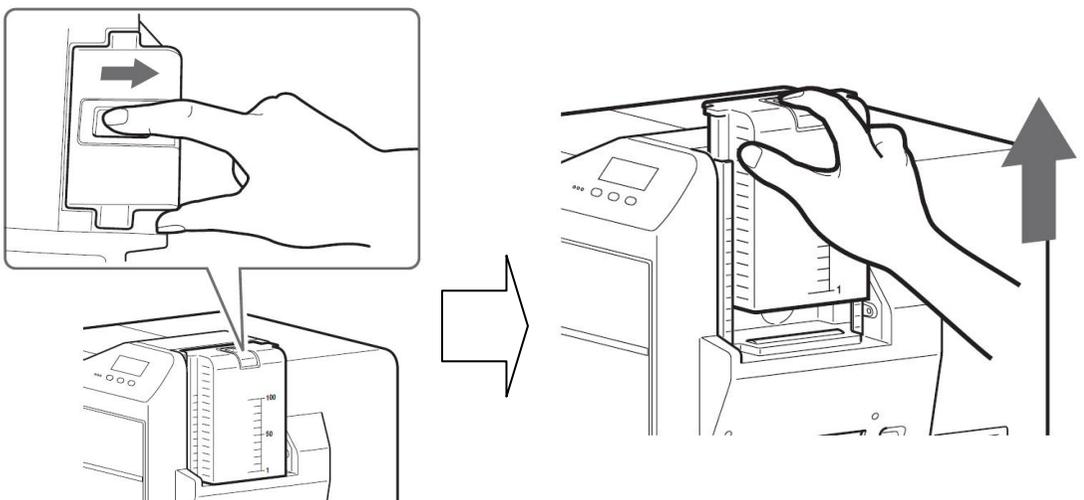
(|は ON、○は OFF です。)

- ヒーターの温度が上がるまで 3～5 分位かかります。
Initialize → Preheating (3～5分) → Ready
- Ready 表示で印刷準備完了となります。

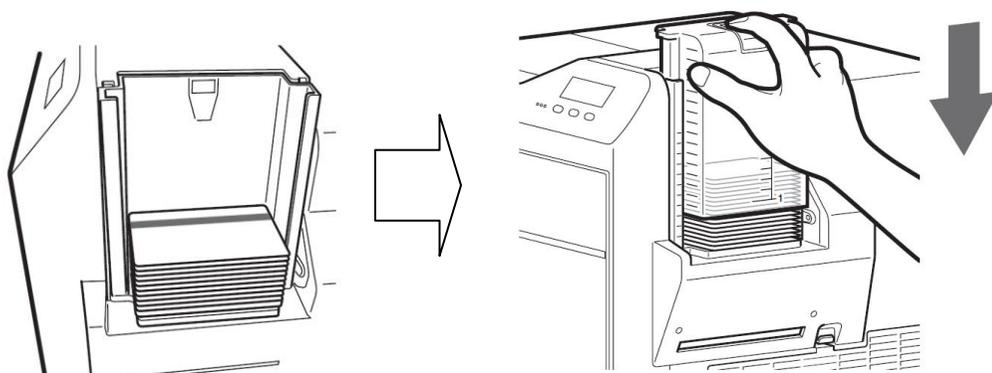


2. カードのセット

- カードホッパーノブを「OPEN」にし、カードホッパーカバーを引き上げます。



- ・カードをセットし、カードホッパーカバーを取り付け、カードホッパーノブを「LOCK」にします。

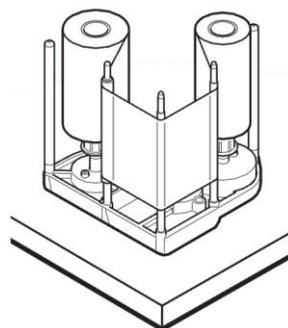


※注意事項

- ①カードの印字面は手でさわらないように注意して下さい。
(カード印字面に手の油やゴミ・ほこり等が付着するとインクが乗らなかつたりゴミの上に印字し、印刷不良の原因となります。)
- ②カードの種類によりセット方向が異なります。セット方向を確認して下さい。
カードのセット方法 (CX-7000 電子マニュアル P31 参照)
- ③カードは静電気や湿気等でカードどうしがくっついてしまう事により、正常にカードが搬送されず『Jam (Hopper)』となる場合があります。この場合は、一度カードをほぐして再セットして下さい。

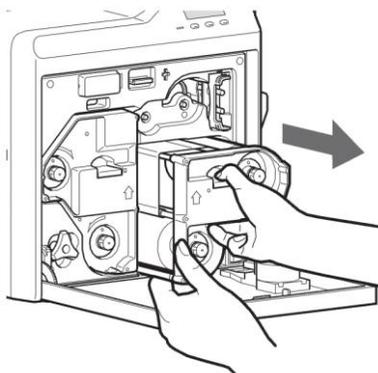
3. インクリボンと再転写フィルムの交換

- ・インクリボンが終了すると『Ink Run Out』と表示されます。
- ・再転写フィルムが終了すると『Film Run Out』と表示されます。
- ・インクリボン・再転写フィルムは必ずセットで交換して下さい。
片方のみ交換すると一回の巻き取り量に差がでるため、正常な印字が出来ない場合があります。
- ・カセットは必ず平らな場所に立てて作業を行ってください。フィルム部分を床に付着させると印刷不良の原因となります。
又、シャフトが曲がり故障の原因となります。



①インクリボンの交換（右側黄色のカセット）（電子マニュアル P32）

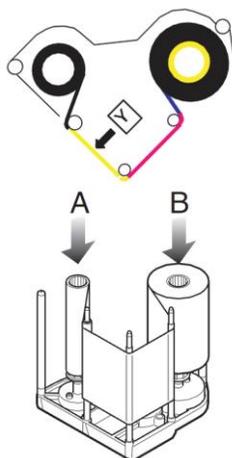
- ・カセットボタンを押しながらインクリボンカセットを引き出します。



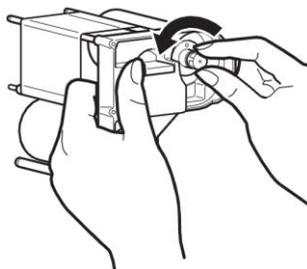
- ・カセットのシール表示を参考にリボンセットします。

A：巻取り側（黒色・ボビンホルダーとリボン芯の色を合わせます）

B：未使用側（黄色・ボビンホルダーとリボン芯の色を合わせます）

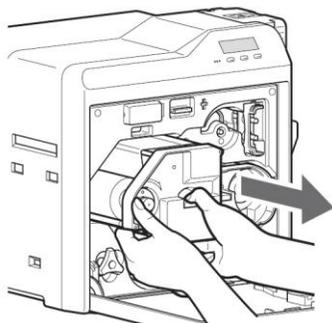


- ・つまみを矢印の方向に回転させ巻きだるみを取り、カセットを“カチッ”と音がするまで本体に挿入します。

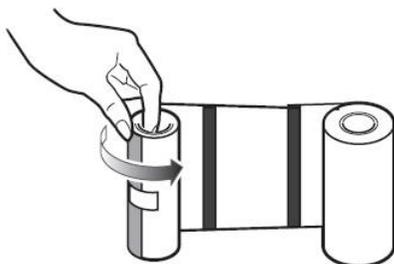


②再転写フィルムの交換（左側緑のカセット）（電子マニュアル P33）

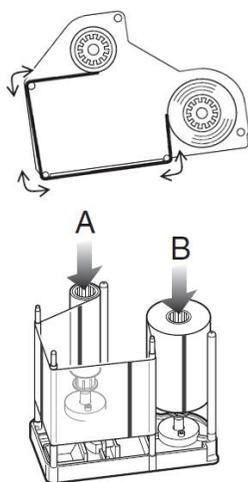
- ・カセットボタンを押しながら再転写フィルムカセットを引き出します。



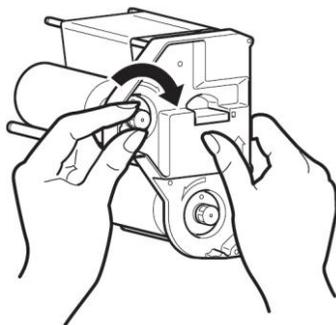
- ・セットする前に黒線3本以上の転写フィルムを巻き取ります。
　　<<重要>>転写フィルムは最初に巻き戻しを行いますので、あらかじめ巻き取りを行っていないとプリンタ故障の原因となります。



- ・カセットのシール表示を参考にリボンをセットします。
　　A：巻取り側（黒色・ボビンホルダーとリボン芯の色を合わせます）
　　B：未使用側（緑色・ボビンホルダーとリボン芯の色を合わせます）



- ・ツマミを矢印の方向に回転させ巻きだるみを取り、カセットを“カチッ”と音がするまで本体に挿入します。



- ・インクリボンカセット、再転写フィルムカセットを装着後、以下の手順に従って2画面分のフィルムとインクを先送りして下さい。
(フィルム交換時に手で触った部分や、空気中のホコリが付着した部分を先送りし巻き取ります。)

『RESET』ボタンを押します。

>Initialize

OK? と表示されます。

『Next』ボタンを2回押します。

>Initialize

2' nd Panel, OK? と表示されます。

『←』ボタンを押します。

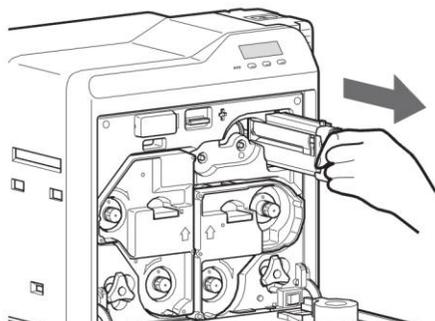
インクリボン、再転写フィルムが2画面送られ初期化されます。

(CX-7000 電子マニュアル P22 参照)

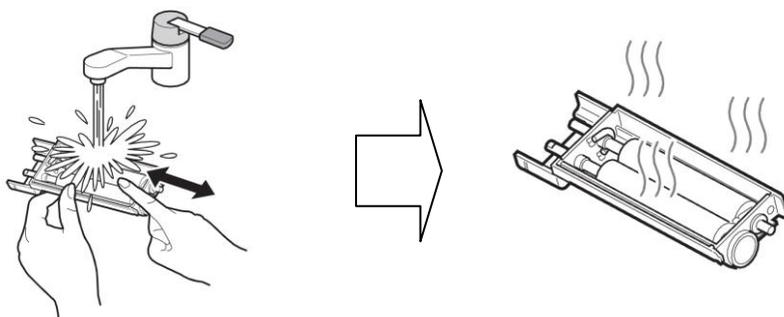
4. 日常のお手入れ (詳しい清掃方法は、電子マニュアルを参照して下さい。)

(1) クリーニングローラーの清掃方法 (CX-7000 電子マニュアル P35 参照)

- ・クリーニングユニットを取り外します。



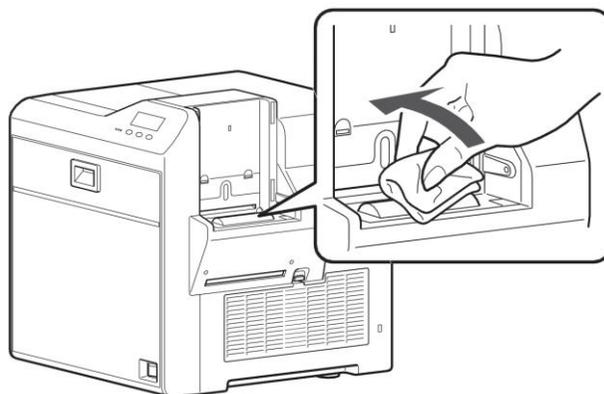
- ・ローラーを水洗いした後、自然乾燥させます。



- ・完全に乾いてからプリンタにセットして下さい。
クリーニングローラーのセット後、
『RESET』ボタン、『←』ボタンで初期化を行って下さい。
この場合、2画面送りは必要ありません。

(2) ホッパー部ローラーの清掃方法 (CX-7000 電子マニュアル P36 参照)

- ・キムワイプ (別売) に無水アルコール (別売) を含ませ表面を拭いてください。



※ホッパー部ローラーが汚れていると、『Jam(Hopper)』エラーとなる場合があります。

(3) ファンフィルターの清掃方法 (CX-7000 電子マニュアル P36 参照)

電子マニュアルに従って清掃してください。

フィルターが詰まっていると、機械の隙間からホコリを吸い込んでしまい
クリーニングローラーを清掃しても正常な印字が出来ない場合があります。

- ・カードや給紙ローラーの清掃には、無水アルコール（無水エタノール）を使用して下さい。

※クリーニングユニットのローラには使用しないで下さい。

※注意事項

OA用クリーナー等の一部には、つや出し用のワックス成分が入っている事がありますので、使用しないで下さい。



無水アルコール（無水エタノール）

（一般の薬局等で販売されています。）

キムワイプ

- ・工業用のティッシュの様な物で、毛羽立ちができません。

（ホームセンター等で販売されています）

以上